

## ワークショップとその後の検討の進め方

### 1. 実施計画（案）の策定

実施計画（案）の策定に向けて、このワークショップでは、用途ごとあるいは施設ごとの方向性を、短期（直近 5 ヶ年程度）と中長期（その後 15 年）に分けて整理します。短期的には、個別施設の存廃や移転・複合化などの具体的な方向性を明記し、中長期的には、その後 15 年の中で進めるべき一定の方向性や考え方を定め、今後 5 年ごとに改めて、具体的な検討を継続して行います。

特に、学校施設など、現時点では具体的な検討が難しい施設については、どのような視点や考え方、方向性のもと再編を考えていくのかを整理して、今後の検討につなげていくこととします。

（検討スケジュールイメージ）

用途・施設	短期（直近 5 年程度）	中長期（その後 15 年）
◎◎支所	◎◎公民館を複合化	長寿命化対策の実施
◎◎公民館	◎◎支所に複合化	移転後に廃止
〇〇体育館	利用率向上対策の検討 管理運営方法の検討	建替えの際は、適正規模の検討
□□運動広場	広域補完施設とし、維持管理を行う。	利用状況等により、今後のあり方を検討
・・・		

### 2. 本ワークショップの位置づけ

資料 3 では、皆様のご意見を踏まえ、どのような考え方や方向性のもと再編を検討していくのか、また、どのようなことに配慮すべきなのか整理しました。

今回と次回のワークショップを通じ、この考え方を練り上げ、実施計画（案）策定にあたっての考え方のよりどころとなる方向性を、とりまとめていきたいと考えています。